

### 第3回 食べるデイ ミーティング

日時:2月18日(水) 19:30~

会場:ふれあい歯科ごとう(ふあみりい予定より変更となる)

参加者:五島先生、登世子先生、本岡さん、安田さん

松山さん、木村さん(日本リック)

佐藤さん、後藤さん、山崎さん、山上さん(K-WORKER)

江沢さん(白十字)

畠山、上野(あおぞら)

#### 内容

##### ①食べるデイ テストツールを作ってみよう、という前回からの課題について

・ツール せんべい、するめ、水(30cc)

見てわかるものをピックアップする→実際に利用者に当てはめる事が出来るか?

代替品でもOK(貝ひもなど...)→長いもの、動きがわかるもの(小さい物だと飲み込んでしまい動きが見れない)

数値化していく

・実際に検証する

サラダせんべい 1/4 → 何回噛んで、飲み込む事が出来るか?

10~15が正常値。30は異常と判断

するめ →舌の動きを見る。口角の一方(奥歯)に挟み、2回噛み、反対方向に動かす

左右に動かす。3往復程度で大体の能力が解る。→例:途中で落としてしまう、全く動かせない、一方向しか動かせないなど)

水(30cc)→口に一旦溜め、一気に飲む。→ハイレベルな検査

紙コップで検証するが、利用者で検査する場合、形態は良いか?(鼻に当たってしまう、首が上がって危ないなど)

嚥下状態を把握する事が出来る→一気に飲める、むせる、何回かにわけて飲む事が出来るなど

※以上3つの物を使い、実際にスタッフで実験・検証していく。サンプル動画も撮影。

試験の順番はするめ、サラダせんべい、水で行う。

舌の動き、咀嚼、食塊形成、嚥下の能力がこのテストで大体わかるであろうとの結論に至る。

次回の会議までに実際に利用者にテストを行ってもらい、結果を出し合う。

##### ②食姿勢について

・「コンセプト」で“骨盤を立たせる椅子”の提案があり、実際にその商品を利用者に使ってもらい検証を行う。

その商品(通常使用している物に被せて使うような形)が利用者にとって食事に適した姿勢を作り出しているのか？

→りっくるにて何名かの方に使ってもらった結果の動画を、参加スタッフで確認する。

出た意見:良い姿勢を保つには(利用者の体形に合わせた椅子の大きさ、テーブルの高さなどが重要である。

足を床につけられるよう適時クッションを使用する、浅く座る、台座を使う など

※この商品を使う事により、様々な問題点が浮かび上がる。今後も利用者にとっての良い食姿勢を保つには、という課題に向けて

検証作業を進めて行く。

③ワールドカフェの開催に向けて(そしおとのコラボ企画)

途中参加の山崎さんより(東京新宿メディカルセンター)

※まずは参加が可能なメンバーで実際にやってみる。

3/22(日)に試験的に行う(場所 りっくるにて)

今後は利用者や家族など地域の人達を対象に行っていきたい。

次回:3/7(水)開催予定(会場はあおぞらにて)

今回、話があったテストと食姿勢について、実際に各事業所で検証した結果を発表していく